

2020年度
openam-dev
活動報告

アジェンダ

- コンソーシアム版OpenAM開発状況
 - OpenAM 開発
 - Web Agent 開発
 - コミュニティサイト

OpenAM 15 開発

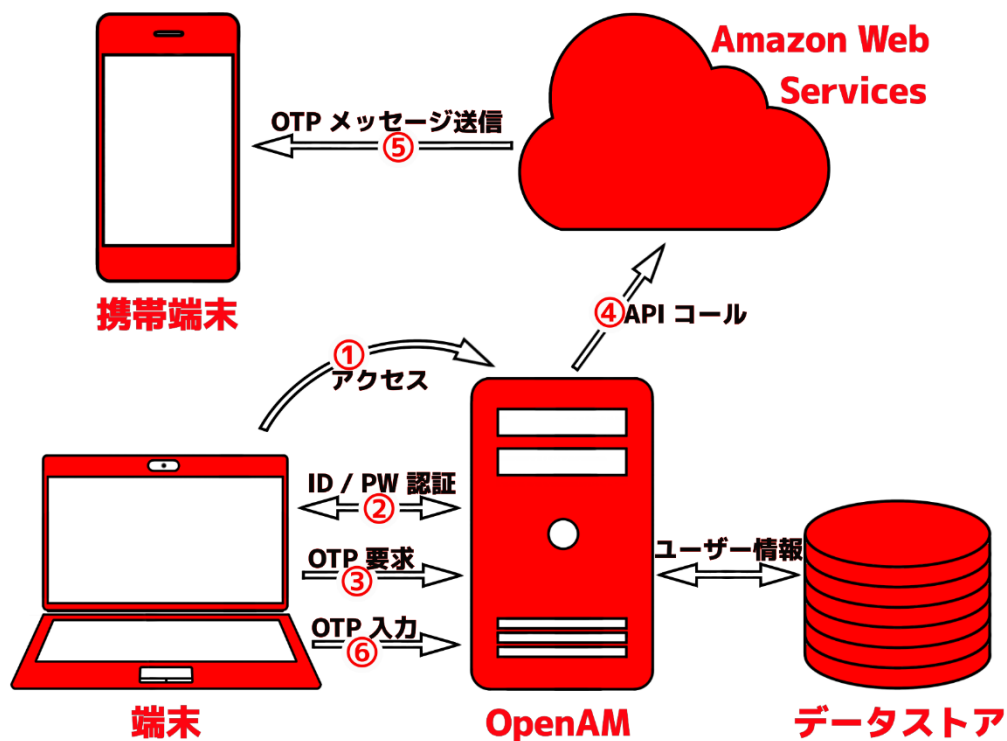
状況	バージョン情報を15.0.0-SNAPSHOTとして次バージョンの開発中。
実施内容	<ul style="list-style-type: none">□ セキュリティ FIX(4件)□ TLS 1.2 対応
今後の予定	<ul style="list-style-type: none">□ 3~4年のスパンで開発を想定□ 新規機能の検討・開発<ul style="list-style-type: none">➢ DevOps 推進➢ プロトコルの更新への追随 (OAuth/OIDC/WebAuthn)➢ REST API の拡充と XUI 化➢ ライブラリのアップデート・排除➢ OpenJDK 17 (次期 LTS 版) 対応

◆ OpenAM 開発 – セキュリティFIX

- CVE-2021-29156
 - Webfinger における LDAP インジェクション脆弱性
- CVE-2021-35464
 - リモートコード実行の脆弱性
- CVE-2021-37154
 - SAML2 における XML インジェクション脆弱性
- その他
 - `_queryFilter` パラメーターによる XSS 脆弱性

◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (1)

- ワンタイムパスワード認証の種類の追加
 - AWS を利用した SMS・音声による OTP



◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (2)

- 同一ブラウザによる認証時に多要素をスキップする機能
 - 持続 Cookie 認証に多要素をスキップするためのオプションを追加
 - 多要素をスキップするかを確認するモジュールも開発



多要素認証について確認

次回以降このブラウザからのログインで多要素認証をしない

次回以降表示しない

◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (3)

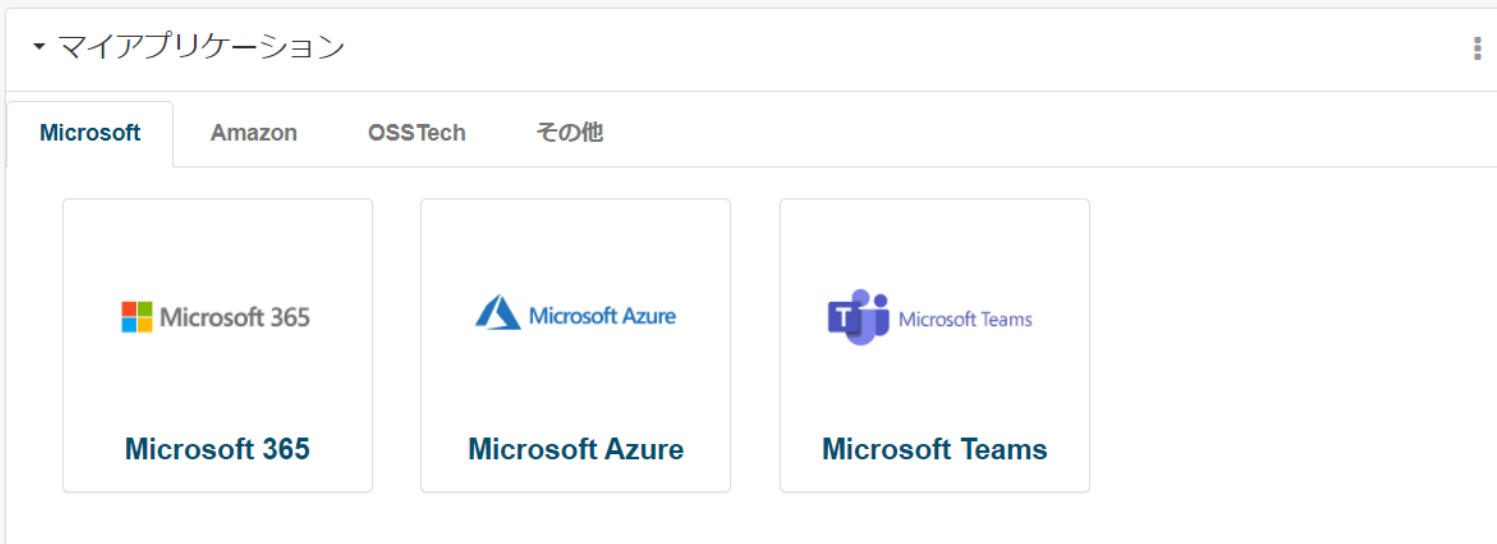
- アダプティブリスク認証の種類追加
 - 位置情報 (国コード) 履歴
 - リスクの高いログイン成功時に警告メールを送信する



◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (4)

- ダッシュボードのエンハンス
– アプリのグループ化 (タブ)、ソートが可能

ダッシュボード



◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (5)

- 初期設定画面のリニューアル
 - 設定の流れは従来通り
 - 古いライブラリを廃止

The screenshot displays the initial setup interface for OpenAM. On the left, a vertical navigation menu lists seven steps: 1. 一般 (General), 2. サーバー設定 (Server Settings), 3. 設定ストア (Settings Store), 4. ユーザーストア (User Store), 5. サイト設定 (Site Settings), 6. エージェント情報 (Agent Information), and 7. 概要 (Overview). Step 1 is currently selected and highlighted. The main content area is titled '手順 1: 一般' (Step 1: General). Below the title, there is a descriptive paragraph: 'デフォルトユーザー amAdmin のパスワードを入力します。パスワード長は 8 文字以上にする必要があります。この設定が既存の配備の一部になる場合は、入力するパスワードを元の配備のパスワードと一致させてください。' (Enter the password for the default user amAdmin. The password length must be 8 characters or more. If this setting becomes part of an existing configuration, please ensure the password matches the original configuration.) Below this text is a form with two input fields: 'パスワード*' (Password*) and 'パスワードの確認*' (Confirm Password*). Both fields contain masked characters (dots). A '次へ' (Next) button is located below the form. At the bottom left, there is a button labeled '最初からやり直す' (Reset from the beginning).

Agent 4.2 開発開始

状況	これまでコンソーシアム版として OpenAM を対象としてきた。 新たに Web Agent もフォークし、開発を開始した。 https://github.com/openam-jp/web-agents
実施内容	今年度は進捗無し。
今後の予定	OGIS、OSSTech のパッチをマージして 4.2.0 としてリリース予定。

コミュニティサイトの作成

状況	GitHub Pages でコミュニティサイトを作成。 https://openam-jp.github.io/ja/ 現時点のコンテンツはOpenAM 14のリリース時に GitHub wiki で公開した内容(リリースノートや新機能の説明など)。
実施内容	今年度は進捗無し。
今後の予定	コンテンツを拡充していく。コンソーシアム WEB サイトで公開している技術文書の移行も検討したい。

OpenAM
コンソーシアム

<https://www.openam.jp/>